令和８年度 第２回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）

開催日時	令和８年１０月１６日（金曜日）１４時３０分～１５時４０分	
開催場所	平塚市役所本館３階　３０２会議室	
出席者	委　員	西田　洋平 会長　森谷　芳浩 副会長　蝦名　今日子 委員 宮田　篤　委員　小林　浩代 委員　林　秀樹 委員
	事務局	石川 社会教育部長　藤田 中央図書館長　熱田 管理担当長 西海 奉仕担当長　関山 管理担当主管　石垣 管理担当主査
傍聴人	３名	

２　議　　題

（１）平塚市図書館について

ア　中央図書館分館の開設

イ　中央図書館改修工事の進捗

ウ　南図書館の供用開始後の状況

エ　小型移動図書館車の導入

オ　平塚市子ども読書活動推進プロジェクトについて

事務局から資料の説明

【　委　員　】	中央図書館分館「駅の図書室」の運営事業者をプロポーザルで選定するに当たって重視した点は何か。どのような点が選定のポイントになったのか。
【 事 務 局 】	駅前という立地を生かして多くの人に来てもらい、にぎわいを創出できることに加え、新しい取組について事業者がどのような提案をするかを重視した。イベントの具体的な企画など、実施内容が明確な提案もあった。 これまで市の図書館は、単独の建物か公共施設内に併設される形態だったが、今回は商業施設内に設けるため、施設内の店舗との連携など、従来とは異なる取組ができる点の提案も重視した。
【　会　長　】	運営業務は１年ごとの契約か。分館自体は期間を過ぎても運営するのか。
【 事 務 局 】	場所としての賃貸借契約は約１０年間で、その運営に当たる事業者をプロポーザルで選定した。運営業務委託契約期間は２年４か月である。
【　会　長　】	現行の指定管理者と異なる事業者が窓口業務等に当たることで、事業者との連携や関係性は問題ないか。
【 事 務 局 】	関係事業者とは、引き続き連携していくことで話をしている。
【　委　員　】	南図書館をよく利用しているが、再開後は明るく広々とした空間になり、視覚的にも引きつけられる。三世代で利用しても使いやすく、見たい本・借りたい本を探しやすい環境になった。一方で、利用者の増加に伴い、駐車場が満車になっていることがある。近隣の他施設の駐車場は比較的空いているようなので、駐車できない場合に活用できないか。図書館と海岸の両方を楽しめるといった周知もできるのではないか。
【　会　長　】	学習スペースを増やしたのは、２階のことか。３階にも席があるのか。
【 事 務 局 】	３階の窓側に机と椅子を設置し、テーブル席も増やしている。２階のコモンズスペースにもテーブルと椅子がある。小学生や中学生がグループで学習している様

	子も見られ、活用されている。コモンズスペースは職員が巡回して見守る運用としている。
【　委　員　】	従来の大きな移動図書館車が無くなったことを残念に思っていたが、小型車両なら保育所や幼稚園など、小さな施設にも本を届けられる点がよい。今後、保育所や幼稚園、小・中学校などに対し、どのように周知する予定か。
【事務局】	まだ、車両は正式に引き渡されていないため、受入れや運用上の確認を済ませた上で、保育所や小・中学校など関係機関への周知を進めたい。イベントへの参加については、現時点で調整中である。
【　委　員　】	福祉ふれあい祭りなど、地域ごとの行事にも車両が来れば、子どもたちが喜ぶのではないか。学校だけでなく、地域ぐるみで本を活用できる仕組みにつながるとよいので、そうした行事との連携も検討してほしい。
【　会　長　】	小型車両の外観は、説明資料に掲載しているデザインのままになるのか。
【事務局】	車体デザインは用意された標準デザインの中から、水色を基調とした明るい印象のものを選定した。
【　委　員　】	従来の「あおぞら号」という愛称が定着していたが、新しい車両でも同じ愛称を使うのか。また、放課後児童クラブは、雨の日や暑い夏休みなどに本へのニーズが高いのではないか。周知が広がれば申込みが多くなり、１台で回りきれなくなることも心配である。今後増車する考えがあるのか。
【事務局】	従来の「あおぞら号」の愛称を継承したいので、水色を基調としたデザインを選んだ。放課後児童クラブなどへの出向を意識している。現在も、児童クラブから希望を受けて児童書を約５０冊ずつコンテナで届け、3か月ごとを目安に入れ替えるサービスを行っている。こうした既存のつながりを生かし、段階的に活用先を広げていきたい。車両の調達は１台で、その運用状況によって車両数も考えていきたい。
【　会　長　】	小型車両の運用は、団体貸出をするようなイメージか。
【事務局】	運用は、団体貸出しを基本とするが、学校からは、学校名義で借りるのか、子ども自身が図書館利用者として借りるのかといった運用上の課題も聞いている。車両の引渡し後、受付方法や貸出の形を整理して調整したい。
【　委　員　】	防災イベントで車両を周知するだけでなく、実際に災害が起きた際にも、被災した人の心のケアなどに役立てられないか。
【事務局】	他の地域で、災害時に図書館車両を活用した事例があることは承知している。一方、長期間にわたり市外へ車両を派遣する場合には制約もある。市内で災害が起きた際の避難所等での活用も含め、新しい車両を運用しながら、図書館としてどのような役割を果たせるか検討していきたい。
【　委　員　】	小学校の防災キャンプで、夜の時間に図書ボランティアが読み聞かせを行うことがある。そうした機会に本や図書館の取組を活用できるのではないか。また、南図書館の児童コーナーは自動扉に近い位置にある。子どもが保護者の目を離れて出入口へ向かわないか、安全面が少し心配である。
【事務局】	児童コーナーの前方には図書館スタッフがいる受付カウンターがある。子どもの動きなどに注意しながら対応するよう、指定管理者側に伝えたい。
【　委　員　】	小田原駅の図書館を見学した際、子どもの本だけでなく、育児や英語に関する資料なども近くに置かれて、子どもだけでなく大人も楽しめる配置になっていた。南図書館でも、保護者が一緒に楽しめる資料の配置などを工夫できるとよい。

【 事 務 局 】	資料の配置については指定管理者が運営しているため、本日の意見を伝え、工夫できる点がないか検討したい。
【 副 会 長 】	今回の「子ども読書活動推進プロジェクト」は、ワークショップ形式で満足度も高そうな、良い取組だと思う。今回が第１回とのことだが、第２回など、シリーズとして継続する計画はあるか。
【 事 務 局 】	２回目以降は別の絵本作家を招いた企画を現在調整している。
【 会 長 】	講師は平塚市と何か関係のある方か。
【 事 務 局 】	平塚市内在住の絵本作家である。
（２）「これからの平塚市図書館運営のあり方」【改訂版】（素案）について **ア 「これからの平塚市図書館運営のあり方」【改訂版】（素案）** **イ パブリックコメントの実施**	
事務局から資料の説明	
【 会 長 】	今回、文章の内容や表現で変更したところはあるか。
【 事 務 局 】	基本方針などの大きな内容を変えたものではないが、全般的に読みやすく、分かりやすい表現になるよう整えている。これまで協議会でいただいた意見も踏まえ、関係課にも内容を確認しながら整理した。
【 会 長 】	正式な形で決定する予定はいつ頃か。
【 事 務 局 】	パブリックコメント後に、庁内での説明・調整を経て決定することになる。市全体における他事業との兼ね合いもあるため、現時点では決定の時期は確定していない。できるだけ早い段階で決定できるよう進めたい。
全体を通じた意見等について	
【 委 員 】	芥川賞・直木賞や本屋大賞などで選ばれた本は、急に売れ、図書館でも予約が集中する。予約の順番を待っているうちにブームが過ぎ、借りる頃には関心が薄れていることもある。そうした本を市として何冊購入し、各館にどのように配分するのか、一定の目安や方針はあるのか。
【 事 務 局 】	予約が多数になった場合でも、各館の所蔵状況を見ながら、追加購入するなどの調整を行っているが、ブームが終わった後も考慮し必要な冊数を考えて購入している。基本的には１～２冊程度を目安としている。 予算は潤沢とは言い難く、特定の本を大量に購入すると、その分、ほかの資料を購入できなくなる。また、購入した本が返却された後に収蔵するスペースの問題もある。こうした予算や書架スペース等を踏まえ、必要な資料を適切に収集していく必要がある。
【 会 長 】	ベストセラーの大量購入については、以前、社会的な問題として取り上げられたこともあった。
【 副 会 長 】	図書館がベストセラーを大量に購入すると、出版社や著作者の利益に影響するという指摘があり、出版業界との関係でも議論になったことがある。
【 会 長 】	あまり売れないかもしれないが、価値のある本を収集することも、公共図書館という公的施設の大切な役割だと思う。
３ その他	
今後の開催スケジュールを説明。	
閉 会	